

(伊)デロンギ社製

デロンギ 電気ベースボードヒーター

DeLonghi

Italian Living Innovation

Mod. **BBH200CB**

● X字型多孔フィン

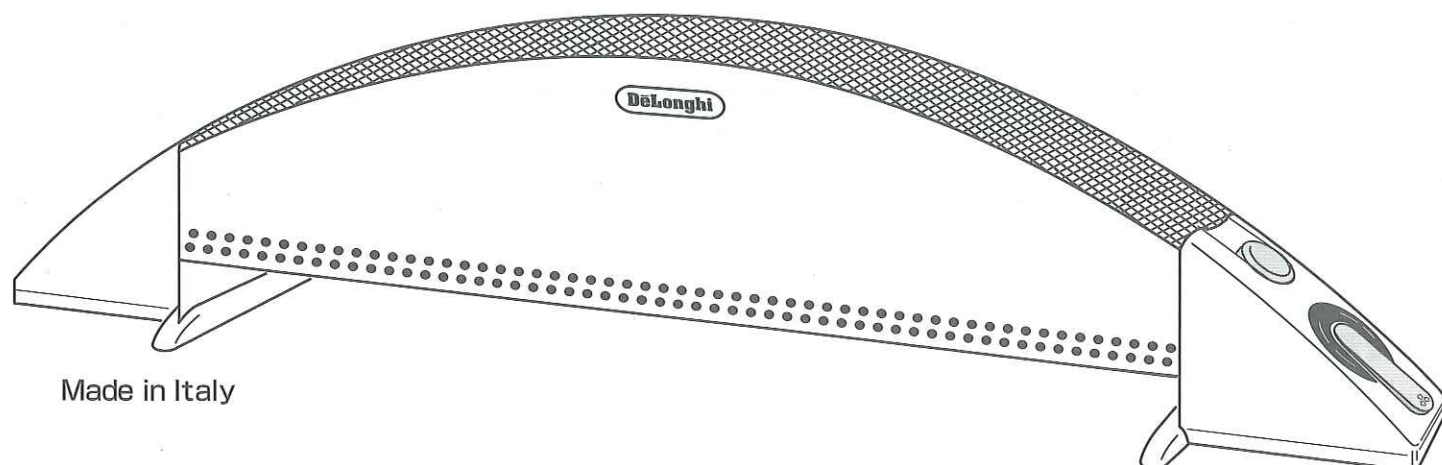
● 1200W

● ECC

## 取扱説明書

この度は、デロンギ電気ベースボードヒーターをお求めいただきまして、誠にありがとうございました。

本製品を正しく安全に使っていただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。



Made in Italy

### BBH200CBの特長

#### ●奥行16cm、高さ28cmの低重心設計

奥行16cm、高さ28cmのロータイプのため、窓下の冷氣によるダウンドラフト対策用や、壁際にも設置することができます。また、本体は、角のないエルゴノミックデザインを採用しています。

#### ●自然対流式暖房

ファンによる温風暖房ではなく、X字型の多孔放熱板からの暖気がつくる自然対流を利用した暖房ですので、埃や花粉などを室内に撒き散らすことがありません。

#### ●即暖型のヒーター

電源を入れるとすぐに暖房が始まる—予熱(待機)時間のない—即暖型のヒーターです。

#### ●E.C.C.

ヒーター内蔵のセンサーが周辺温度を1秒毎に計測し、設定した電力レベル内で自動的に必要な電力を選択します。

### 目次

・安全上のご注意	1～5
・知っておいていただきたいこと	5
・各部の名称とはたらき	6
・操作手順	7
・ヒーターの上手な使い方	8
・お手入れ／保管のしかた	8
・真心点検について	9
・これは故障ではありません	9
・アフターサービス	9
・デロンギ・エコカバーの使い方	10
・仕様	10

# 安全上のご注意

各注意事項を、必ずお守りください。

- 1.ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- 2.ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
- 3.注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の三つに分け、明示しています。

## ⚠️ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。

## ⚠️ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

## ⚠️ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 4.各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示が付いています。



：発火注意



：感電注意



：高温注意



：禁止行為



：分解禁止



：強制／指示



：電源プラグをコンセントから抜く

## 電源について

### ⚠️ 警告

- 電源は、家庭用交流100V／50-60Hzをご使用ください。
- 電源は、「15A 125V」と記されている壁面のコンセントから直接お取りください。

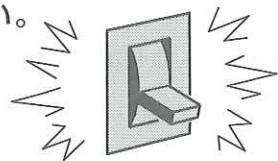
15A 125V



### ⚠️ 注意

- ヒーターを運転中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、電力会社にご相談ください。

※詳しくは、5頁「知っておいていただきたいこと」を参照してください。

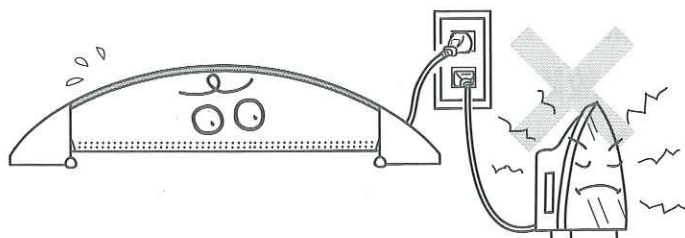


## コンセントについて

### ⚠️ 警告

- コンセントは、必ず本製品だけ（単独）でご使用ください。また、差込み口（刃受）が2つあるコンセントは、片方を空けたままにしてください。

他の電気器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱し、発火する恐れがあります。



- 延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは、絶対に使用しないでください。

コンセントや電源プラグ／電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。



- 取付けの悪い（ガタつきのある）コンセントや差込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。

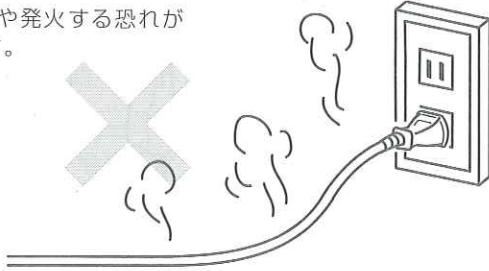




## 警告

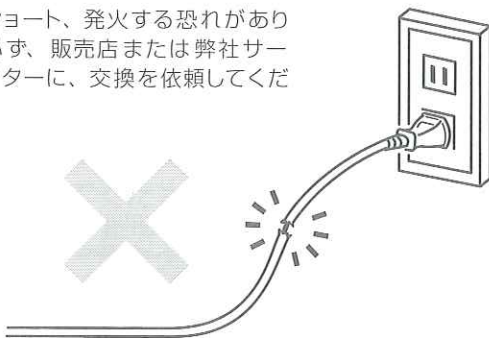
- ヒーターの運転中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電源を切って運転を中止し、販売店または弊社サービスセンター(10頁参照)に、電源プラグ／電源コードの交換を依頼してください。

ショートや発火する恐れがあります。



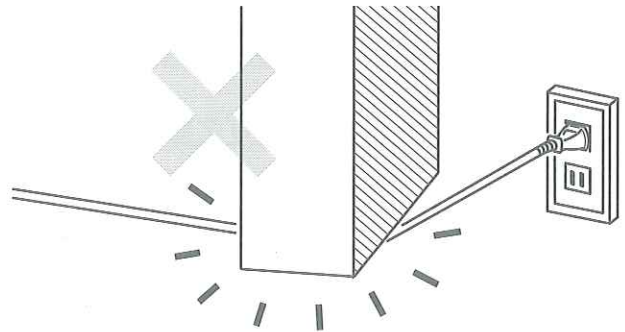
- 傷付いたり、変形・破損している電源プラグ／電源コードは、絶対に使用しないでください。

感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、販売店または弊社サービスセンターに、交換を依頼してください。



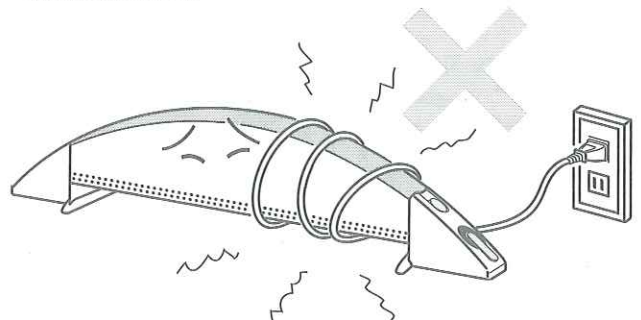
- 電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を乗せたり、傷をつけないでください。

感電やショート、発火などの原因になります。



- ヒーターの運転中は、電源コードが本体に触れないようにしてください。

熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。



## 注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



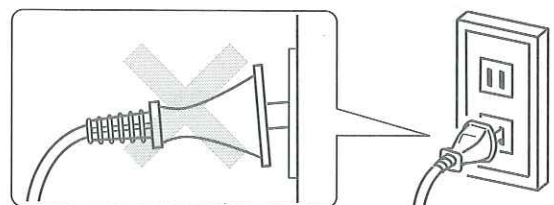
- 濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。

感電する恐れがあります。



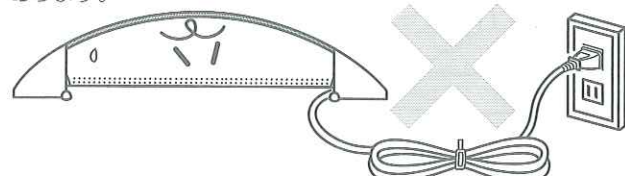
- 電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。

不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。



- 電源コードは、束ねた状態で使用しないでください。また、余ったコードも必ず伸ばしてください。

熱の逃げ場が無くなって高温になり、発火する恐れがあります。



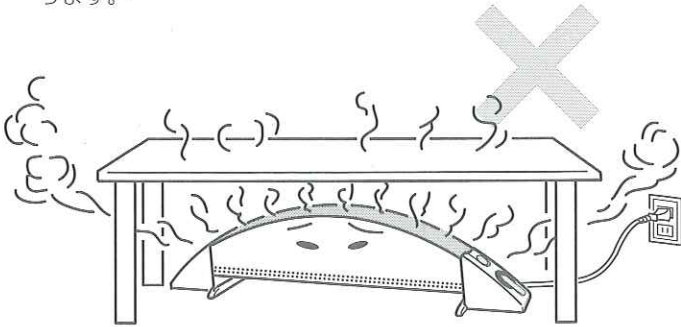
## 設置場所について

### 警告

- テーブルや机の下、電源をとるコンセントのすぐ下でのご使用は、お止めください。



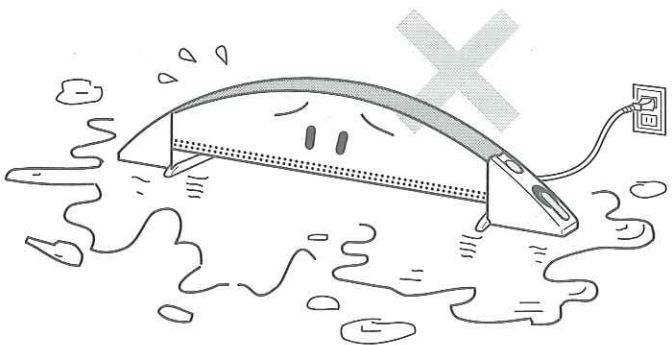
ヒーターの上部をふさぐと、暖気の対流ができずに高温になり、故障などの原因になります。



- 屋外や水／湿気の多い場所(部屋)でのご使用は、お止めください。



ショートや感電の恐れがあります。

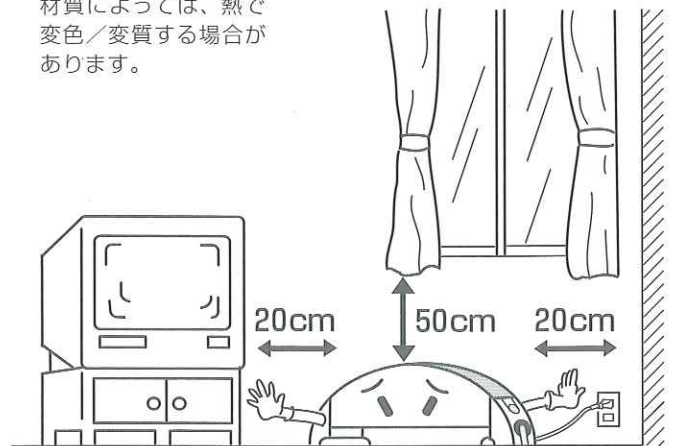


### 注意

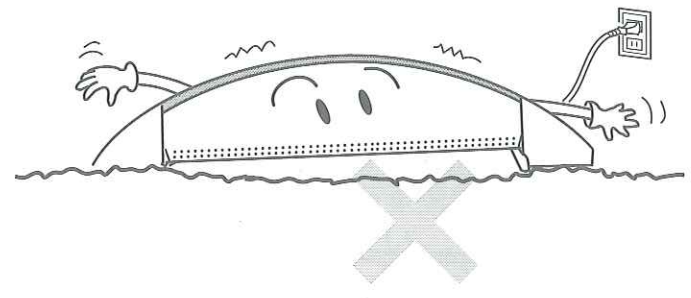
- 壁や家具、電源をとるコンセントからは 20cm 以上、カーテンからは 50cm 以上 離してください。



材質によっては、熱で変色／変質する場合があります。



- 毛足の長い絨毯や凸凹のある床は避け、平らな床に置いてください。



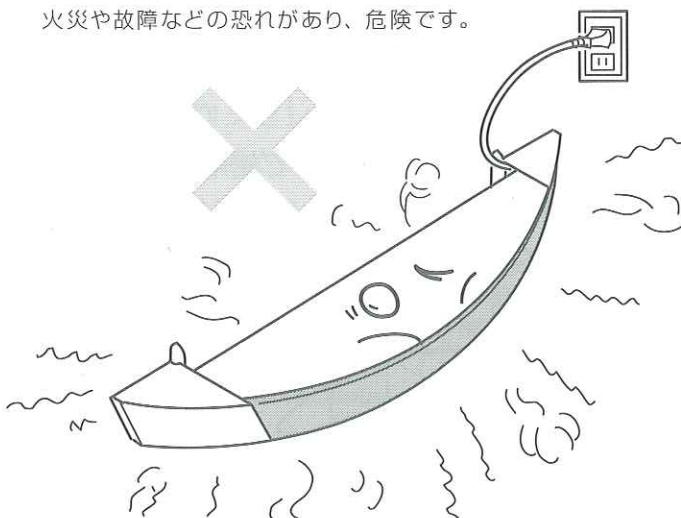
## 使用する際の注意

### 危険

- 逆さまや横倒し、立てかけてのご使用は、絶対にお止めください。



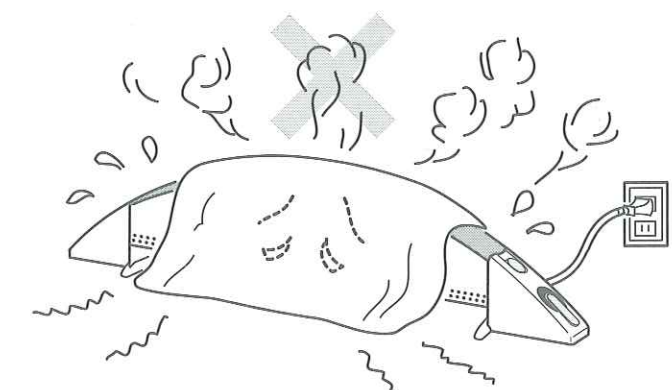
火災や故障などの恐れがあり、危険です。



- 布団や毛布などをかけたり、濡れたもの(洗濯物など)の乾燥に利用しないでください。



過熱により、火災や故障などの恐れがあります。



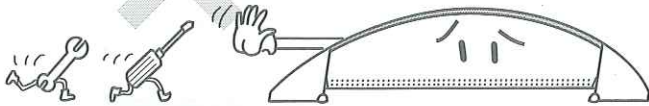


## 使用する際の注意

### 警告

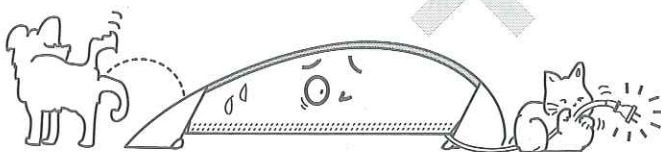
- 本製品を分解したり、改造することは、絶対にお止めください。

故障や発火の恐れがあります。



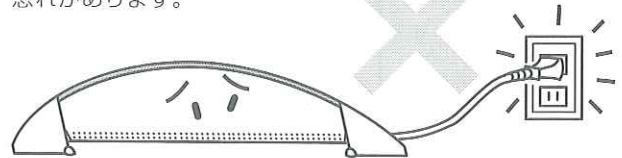
- 猫や犬など、ペットの暖房に使用しないでください。

ペットが本体や電源プラグ／電源コードなどを傷め、発火や故障の原因になります。



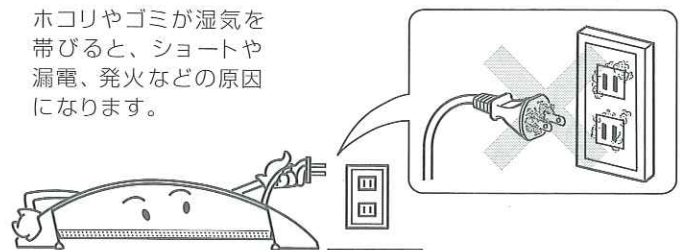
- 長期に使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

誤って、電源が入る恐れがあります。



- 定期的に、電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミを掃除機などで取り除いてください。

ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



### 注意

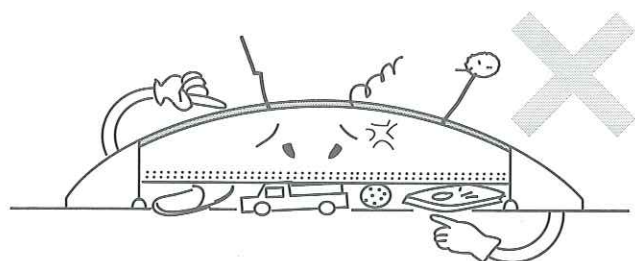
- ヒーターを移動する際は、必ず冷えてから行なってください。また、床を引きずらないでください。

床面が傷付く場合がありますので、移動する際は、本体を持ち上げてください。



- ヒーターのすき間(保護ネットや通気孔の下など)に、異物を入れないでください。

発火や故障の原因になります。

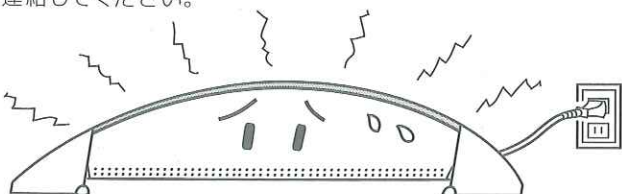


## 運転中の注意

### 警告

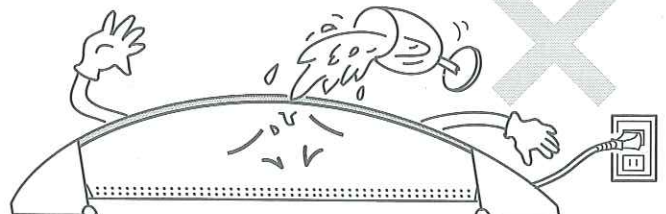
- 万一、異常が生じた場合は、直ちに電力切替えスイッチを押して電源を切り(=運転停止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、弊社サービスセンター(10頁参照)まで連絡してください。



- 本体および操作パネルに、水やジュース(液体)などをこぼさないでください。

万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を停止します。その後、弊社サービスセンター(10頁参照)まで連絡してください。



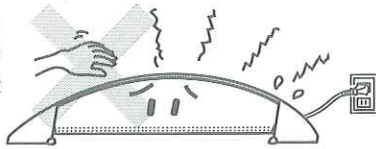


## 運転中の注意

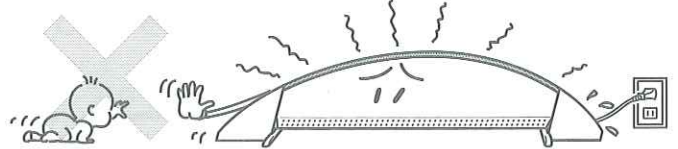
### ⚠️ 注意

- 運転中および停止直後は、保護ネット（暖気孔）に触れないでください。

表面は、最高で約85℃になります。ただし、1～2秒触れても、ヤケドをする恐れはありません。



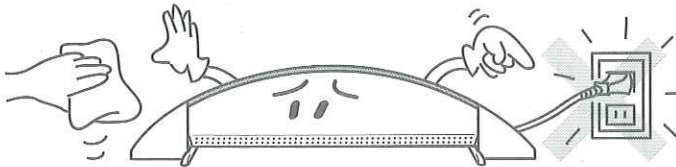
- 小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添ってください。



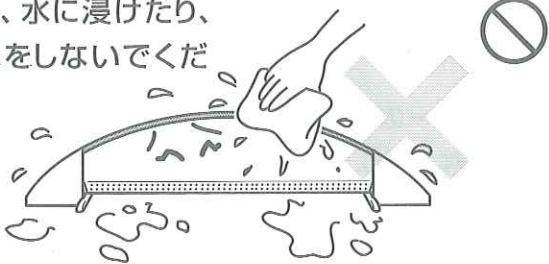
## お手入れについて

### ⚠️ 警告

- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、ヒーターが冷えてから行なってください。



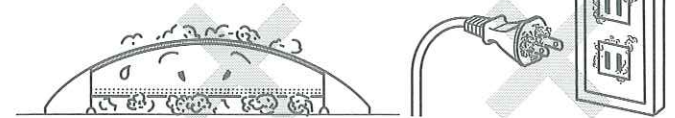
- 絶対に、水に浸けたり、水洗いをしないでください。



### ⚠️ 注意

- ヒーター底面（通気孔）と床とのすき間、保護ネット、電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除いてください。

ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



- 洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは、使用しないでください。
- ご自分（弊社のサービスセンター以外）で修理をするのは、絶対にお止めください。

## 知っておいていただきたいこと

### 定格電流について

本製品の定格電流は、12 A（アンペア）です。ご家庭内で使用中の他の電気器具（複数）の定格電流との合計値が、契約電力（電気料金の請求書「基本契約欄」に〇〇Aと記載）を超えていないか

確認してください。なお、定格電流の算出方法は、以下の通りです。

$$\text{定格電流 (A)} = \frac{\text{消費電力 (W)}}{100 (\text{V: 電圧})}$$

### ブレーカーについて

ブレーカー（分電盤内にある回路遮断器）は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。契約電力が不足している場

合や、足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き（＝落ち）ます。

※契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

### 電気代（目安）について

1時間当りの電気代（目安）は、暖房する部屋の諸条件（建材や位置など）により異なってきますが、おおよそ右記の通りです。（※1kW/h＝22円として算出した場合）

電源を入れてから 30分～1時間 （消費電力は最大）	室温が適温に達した後 サーモスタットで調節 （ヒーター稼働率が60%の場合）
約26円／時間	約16円／時間



# 各部の名称とはたらき

ここから暖気が立ち昇ってきますので、保護ネットの表面は、最高で約85℃になります。ただし、瞬間的に触れてもヤケドの心配はありません。

## 保護ネット(暖気孔)

棒状のシーズヒーターに取り付けたX字型多孔放熱板で効率よく放熱、暖気による自然対流によって室内を暖めます。

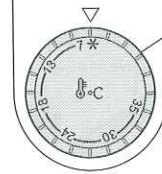
## 放熱板(電熱部)

電力切替えスイッチを押し、電源が入ると点灯します。点灯するランプは、電力レベルにより異なります。

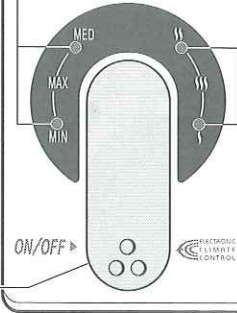
## 電源ランプ(全2コ)

電力のレベルを3段階強化(MAX:1200W)／中(MED:700W)／弱(MIN:500W)に切り替えることができます。スイッチは下部(品)を押してください。押す度に、ピッという電子音(消音可)がします。

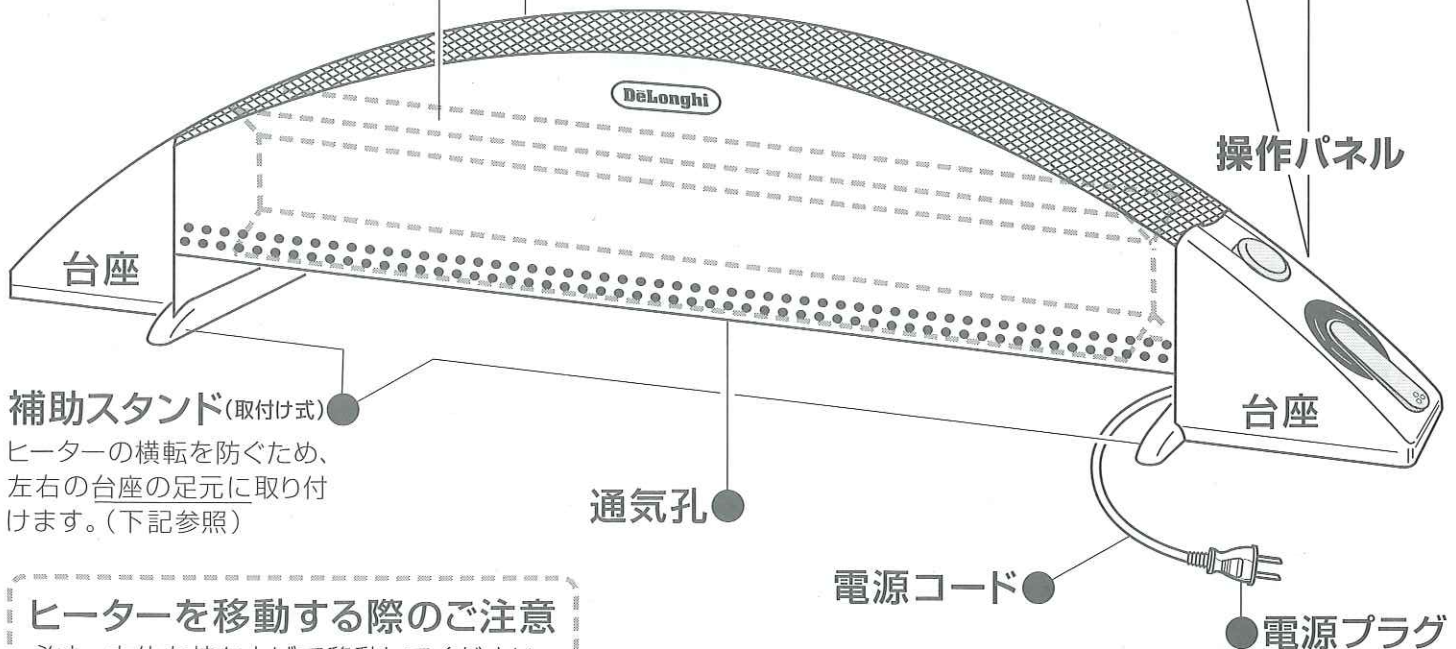
## 電力切替えスイッチ



●サーモスタート(電子式)  
ダイヤルを回し、お望みの温度(目安)を設定します。その後、ヒーターの運転(電源の入/切、電力レベル)を自動制御し、設定温度を一定に保ちます。



●運転ランプ(全2コ)  
ヒーターの運転時に点灯します。点灯するランプは、電力レベルに応じて異なります。また、ヒーターの運転が停止すると、全てのランプが消えます。



## 補助スタンド(取付け式)

ヒーターの横転を防ぐため、左右の台座の足元に取り付けます。(下記参照)

## 通気孔

## 電源コード

## 電源プラグ

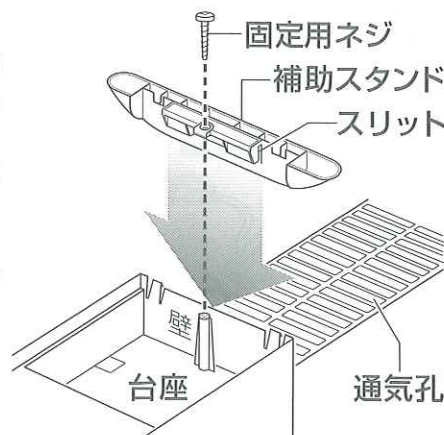
## ヒーターを移動するときのご注意

必ず、本体を持ち上げて移動してください。引きずると、床面や敷物を傷付けたり、補助スタンドを破損する恐れがあります。

付属品：補助スタンド(2コ)、固定用ネジ(2本)、デロンギ・エコカバー

## 補助スタンドの取付け方

- ①ヒーター本体を仰向け(保護ネットを下)にします。  
※床に直に置くことはお止めください。床材によっては傷付く場合がありますので、必ずタオル等の柔らかいものをひいてください。
- ②台座の壁(通気孔側)に、補助スタンドのスリット部分を奥まで挟み込み、固定用ネジでしっかりと固定します。  
※補助スタンドを少し前に傾けて押し込むと、入り易いです。また、無理に力をいれると破損する恐れがありますので、ご注意ください。
- ③同様に、片方の台座にも補助スタンドを取り付けます。  
必ず、両方の台座に正しく取り付けてください。
- ④本体をゆっくりと起こします。(完了)

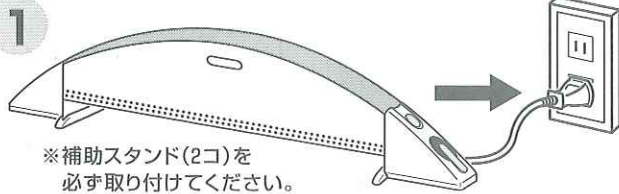


**警告**

ヒーターの横転を防ぐため、必ず両台座の足元に取り付けてください。

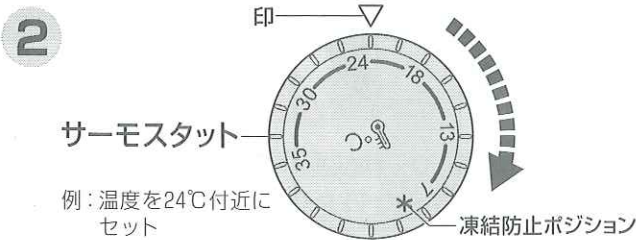


# 操作手順



## 電源を接続する

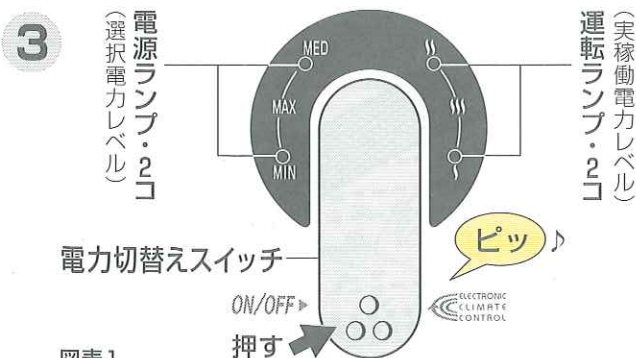
電源プラグを壁面のコンセントに直接差し込みます。根元まで、しっかりと入れてください。



## サーモスタットに温度を設定する

サーモスタットのダイヤルを回し、お望みの温度：数値7～35℃(※)を▽印に合わせます。なお、運転中に、設定した温度の変更は可能です。

※数値表示のない中間位置でも、温度の設定はできます。



## 暖房運転を開始する(電源を入れる)

電力切替えスイッチの下部(品)を押し、ご希望の電力レベル(図表1)をセットします。電源が入ると、電力レベルに則した電源ランプおよび運転ランプが点灯し、暖房運転が始まります。

設定温度に達すると、サーモスタットがヒーターの運転(電源の入/切、電力レベル)を自動制御し(→セットした電力レベル内の運転ランプが消点灯を繰り返す)、温度を一定に保ちます。

▶早く暖めたい場合は、電力レベルを「強」にセットしてください。

図表1

	電力レベル(電源が入っている状態)		
	強	中	弱
	MAX(1200W)	MED(700W)	MIN(500W)
電源ランプの点灯	MED MAX MIN	MED MAX MIN	MED MAX MIN

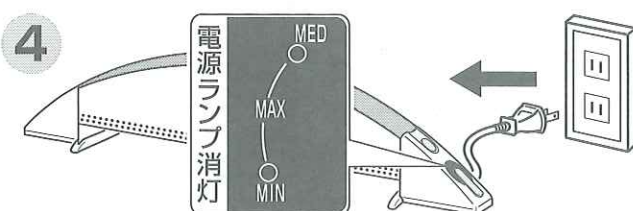
電力切替えスイッチを押すと、ピッという電子音がします。消音するには、電力切替えスイッチを押しながら電源プラグをコンセントに差し込みます。なお、電源プラグを抜き、再度コンセントに差し込むと、元の状態に戻ります。

## 最初にご使用の際は、「脱臭運転」をしてください

本製品を初めてご使用になる場合、電源を入れると、若干、臭いがすることがあります。これは放熱板の耐熱塗料が熱になじむまでのことで、機能や安全性の問題ではありません。そこで、脱臭のために温度20℃(目安)で電力レベルを「強」に設定し、2時間ほど運転してください。

**【ご注意】** 脱臭運転中は、必ず、室内の換気をしてください。

・初回の臭いがきつかったり、数回使用しても臭いが抜けない場合には他の原因も考えられますので、使用を中止して、弊社サービスセンター(10頁参照)までご連絡ください。



## 暖房運転を停止する(電源を切る)

電力切替えスイッチの下部を押して、電源ランプが全て消えた(=電源を切った)状態にします。その後、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 凍結防止機能

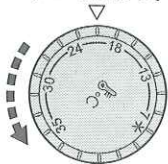
電源を入れた状態でサーモスタットのダイヤルを\* (凍結防止ポジション) にセットしておくと、ヒーター周辺の温度が5℃以下(目安)になると自動的に暖房運転を始め、ヒーターの凍結を防止します。



# ヒーターの上手な使い方

## 節電対策

サーモスタット

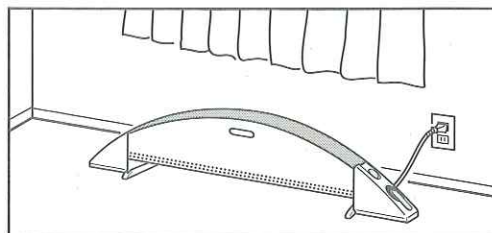
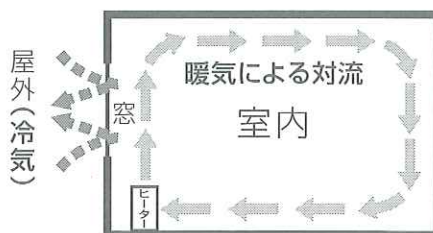


電力切替えスイッチ



電子式サーモスタットは1秒毎に周辺温度を計測し、設定温度を超えた場合は、自動的にヒーターの電源を切ります。また、お部屋が暖まったら、設定温度および電力レベルを下げてください。

## ダウンドラフト対策：効果的な設置場所



室内で、特に冷気のダウンドラフト(下降気流)が発生しやすい場所＝窓の下や外気に触れている壁際などに設置してください。ヒーターの暖気による“エアカーテン”で、ダウンドラフトの発生を抑えます。また、窓に厚手のカーテンをしたり、ドアの開閉頻度を減らすなどの工夫をすることで、より効果的な暖房が得られます。

# お手入れ／保管のしかた



お手入れや保管をする場合には、必ず事前に電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行なってください。

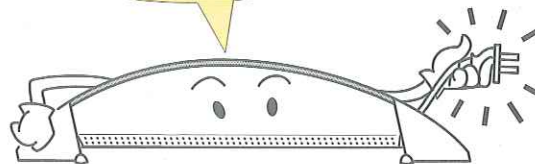


水洗いはできません。また、洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわし等は、使用しないでください。

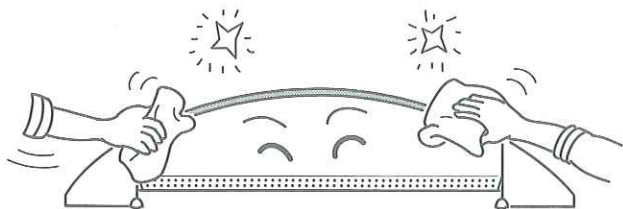


保管する際は、必ず事前にお手入れをしてください。また、立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かないでください。

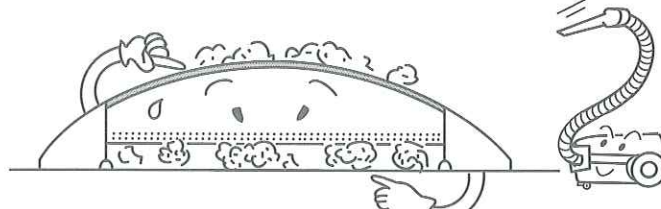
お手入れは、定期的に行なってください。



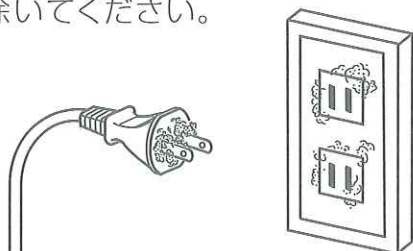
- 本体は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。



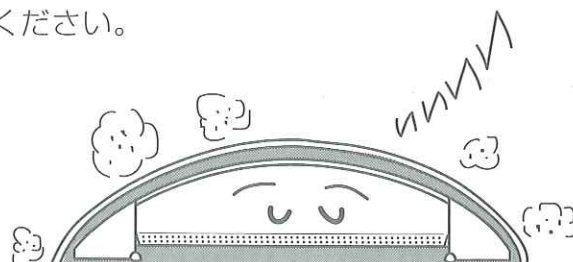
- 本体の上部(保護ネット)および底面(通気孔)と床のすき間に溜っているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



- 壁面コンセント(刃受)および電源プラグ(栓刃)に付着しているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。

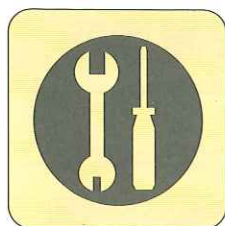


- 収納／保管する際は、デロンギ・エコカバーをしてホコリなどを防ぎ、乾燥した場所に置いてください。

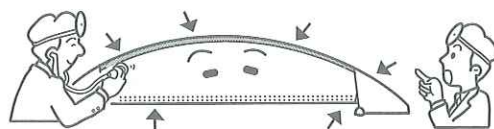




# 真心点検について



長年お使いになった電気ベースボードヒーターは、点検をお薦めします。保証期間(3年)が過ぎて少しでも気になる点がございましたら、安全のために、専門技術者による点検(持込み)をお薦めします。点検の依頼および料金等につきましては、弊社サービスセンター(右頁参照)までお問い合わせください。



## これは故障ではありません

### パチッパチッと音がする

サーモスタットの作動時や電源を切ったときに、暖炉の薪がはじける様な音がすることがあります。これは、熱で金属(放熱板)が伸縮する際に出るもので、異常ではありません。

### 内部に青白い光が見える

周囲が暗いと、サーモスタットのある操作パネル内部に青白い光が見えることがあります。これは、サーモスタットが温度調節のために自動的に電源を入/切する際のもので、故障ではありません。

## アフターサービス

- 使用中に異常(★参照)が生じた場合は、直ちに電力切替えスイッチを押して電源を切り(=運転停止)、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの販売店または弊社サービスセンター(右頁参照)にご相談ください。

★以下のような場合には、点検および修理が必要です。

- ・いつもと状態が違う
- ・ときどき、暖かにならない
- ・本体の表面(放熱板周辺)が、異常に熱くなる
- ・電源コード/電源プラグ、コンセントが、異常に熱くなる
- ・操作パネルや放熱板(暖気孔)に、水やジュース(液体)などをこぼしたとき
- ・本体に、強い衝撃を加えたとき
- ・取扱説明書の通りに使用しても、まだ、不明な点があるとき

- 万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に①お求めの時期 ②製品名称と型式番号 ③故障の状況——を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※宅配便等を利用して弊社サービスセンターに直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを同封くださるようお願いいたします。

- 保証期間中(3年)は、保証書に記載されているものについては無償で修理いたします。ただし、使用上の注意を無視しての故障や規格外に改造したものなどは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有償で修理いたします。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンター(右頁参照)までお問い合わせください。



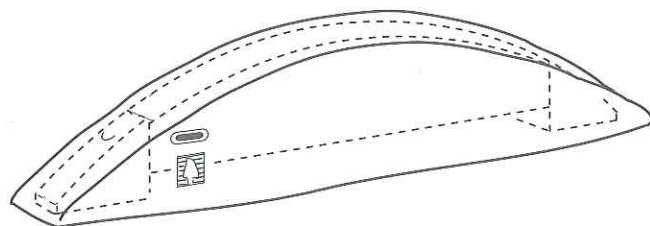
# デロンギ・エコカバーの使い方

1)ホコリよけのカバーとして：シーズンオフには、収納／保管用カバーとしてご利用ください。

2)ご不用時／回収(再資源化)ご依頼時の梱包材として：



ご不用になった製品は、下記の要領に従って、デロンギ・ジャパンサービスセンター(下記参照)までお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。



※デロンギ・エコカバーは、無漂白の綿100%で出来ています。

送料について▶再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となりますので、予めご了承ください。

梱包について▶ご不用になったデロンギヒーターは、付属のデロンギ・エコカバーに包んでお送りください。なお、デロンギ・エコカバー以外のもので梱包／返送される場合は、再資源化の費用が有料になることがあります。また、修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

## 仕 様

製 品 名 称	デロンギ 電気ベースボードヒーター X字型多孔フィン	
型 式 番 号	BBH200CB	
適 用 畳 数	3～8畳	
定 格	電 圧／周波数	交流100V／50-60Hz
	消 費 電 力	500W・700W・1200W
外 形 寸 法／重 さ(※)	長さ120.0×奥行16.0×高さ28.0cm／5.0kg	
安 全 装 置	転倒時自動電源遮断装置・復帰型安全サーモ	
電 源 コードの長さ	2.1m	
付 属 品	補助スタンド×2、固定用ネジ×2、デロンギ・エコカバー	

※外形寸法および重さの各数値は、補助スタンド(2コ)を装着時のものです。

## デロンギ・ジャパン サービスセンター (受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30～18:00)

●横浜：〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内 4号ビル

修理について Tel.0120-804-280  
お問い合わせ Tel.0120-064-300 / Fax.045-450-3291

●大阪：〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-21-25

修理について Tel.0120-692-885  
お問い合わせ Tel.0120-692-880 / Fax.06-6368-2881

●ホームページでのお問い合わせ(URL) <http://www.delonghi.co.jp>



*Italian Living Innovation*

 **デロンギ・ジャパン株式会社**

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel. 03-5256-6321(代)